

令和4年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果共有会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	

活動団体名：岡山県瀬戸内市

活動地域：岡山県瀬戸内市

活動におけるテーマ

『「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」を活用した社会教育と学校教育の連携及び将来の担い手の育成』

活動団体および活動地域の紹介

平成16年11月に牛窓町、邑久町、長船町が合併し誕生
総面積125.46km²、人口36,048人(令和2年国勢調査)



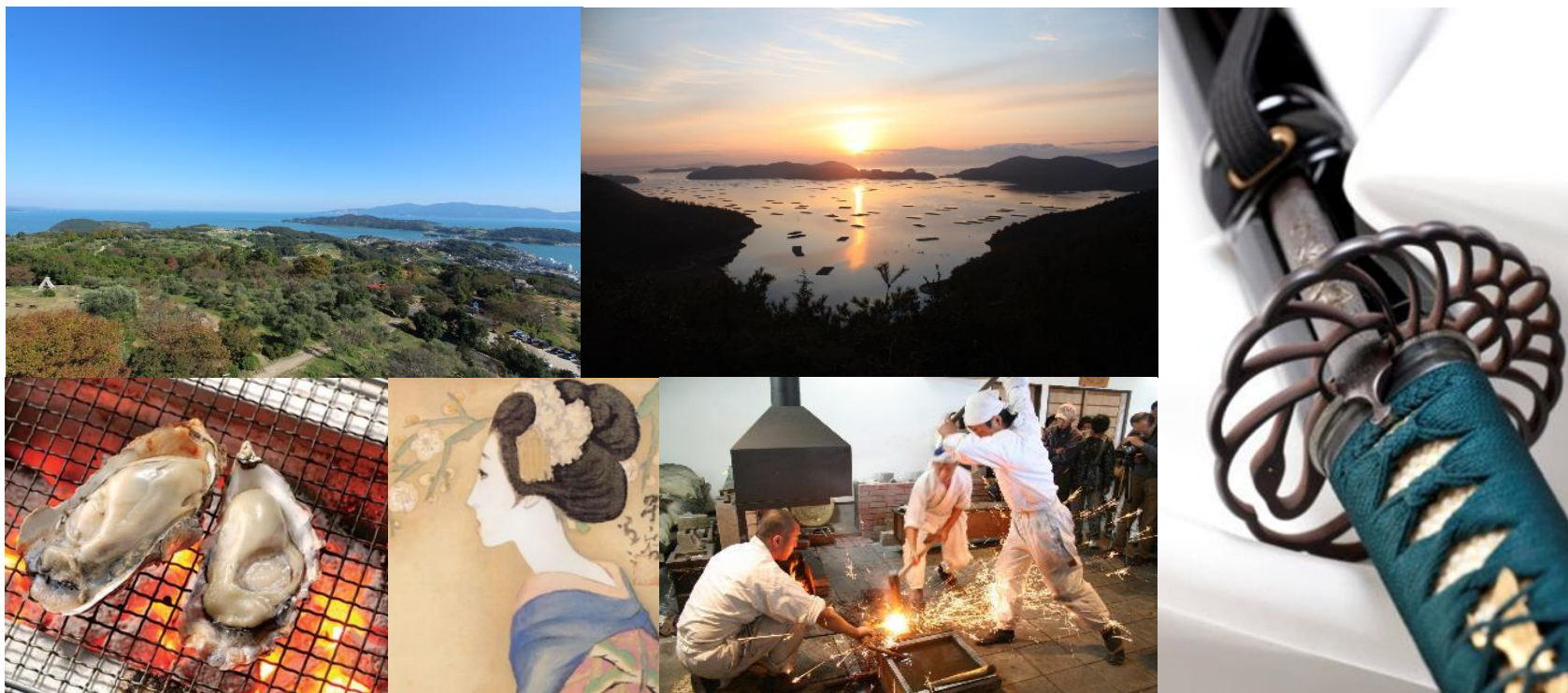
活動団体および活動地域の紹介

瀬戸内海に面した丘陵地と、島々からなる：牛窓の多島美、迫門の曙
農業・漁業が盛ん：白菜、キャベツ、かぼちゃ、米、ぶどう、牡蠣
歴史と文化に彩られたまち：備前刀、竹久夢二、朝鮮通信使

<特徴的なプロジェクト>

太陽のまちプロジェクト、山鳥毛里づくりプロジェクト、食のしあわせプロジェクト etc.

瀬戸内市HP <https://www.city.setouchi.lg.jp/> 太陽のまちプロジェクト <https://www.city.setouchi.lg.jp/site/taiyounomachipj/>
山鳥毛里づくりプロジェクト <https://setouchi-cf.jp/village/about/> 食のしあわせプロジェクト <https://setouchi-cf.jp/food/about/>



「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」

市内唯一の高校である県立邑久高校と連携し、カードゲームを通じて若者や子どもたちが考えるまちづくりを実現していく



邑久高校



入学希望者の増加

地域学の深化

シビックプライドの醸成

協力・支援

協力・支援

地域の担い手育成

SDGs推進の横展開

効果の好循環



包括連携協定



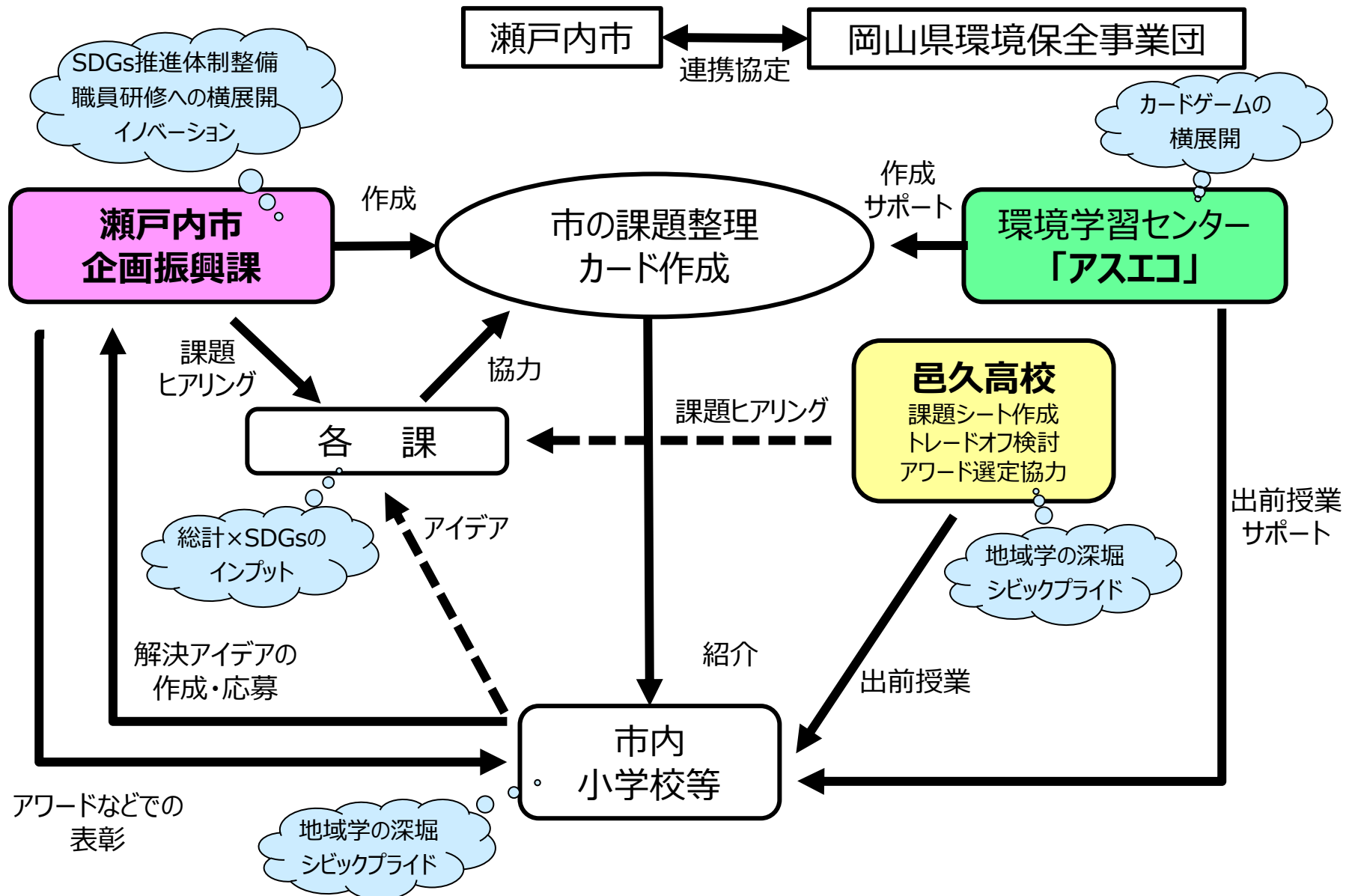
市の価値向上

環境学習センター「アスエコ」

瀬戸内市

地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

「瀬戸内市オリジナルSDGsカードゲーム」のスキーム



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			全国キックオフミーティング			中国ブロック中間共有会						全国成果共有会
実施したこと① カードゲーム出前授業		出前授業の募集・調整					市内小学校での出前授業の実施 (8校・約300人が体験、提案アイデア40)				アイデア選定・表彰	
							出前講座	出前講座			SDGsフォーラム	
実施したこと② カードゲーム内容更新			趣旨説明				職員への聞き書き			実践報告会		
						カードゲーム更新（地域学） ※新規10枚、改善5枚を作成						
実施したこと③ ステークホルダーミーティング											ステークホルダーミーティング	マンダラ案作成
						仕組み検討						

地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

趣旨説明



小学校での出前授業



SDGsプラットフォームミーティング



カードゲーム

→ SDGsの番号

瀬戸内市で本当に問題になっていること。

↓

新たに起きそうな問題。

→ 総合計画

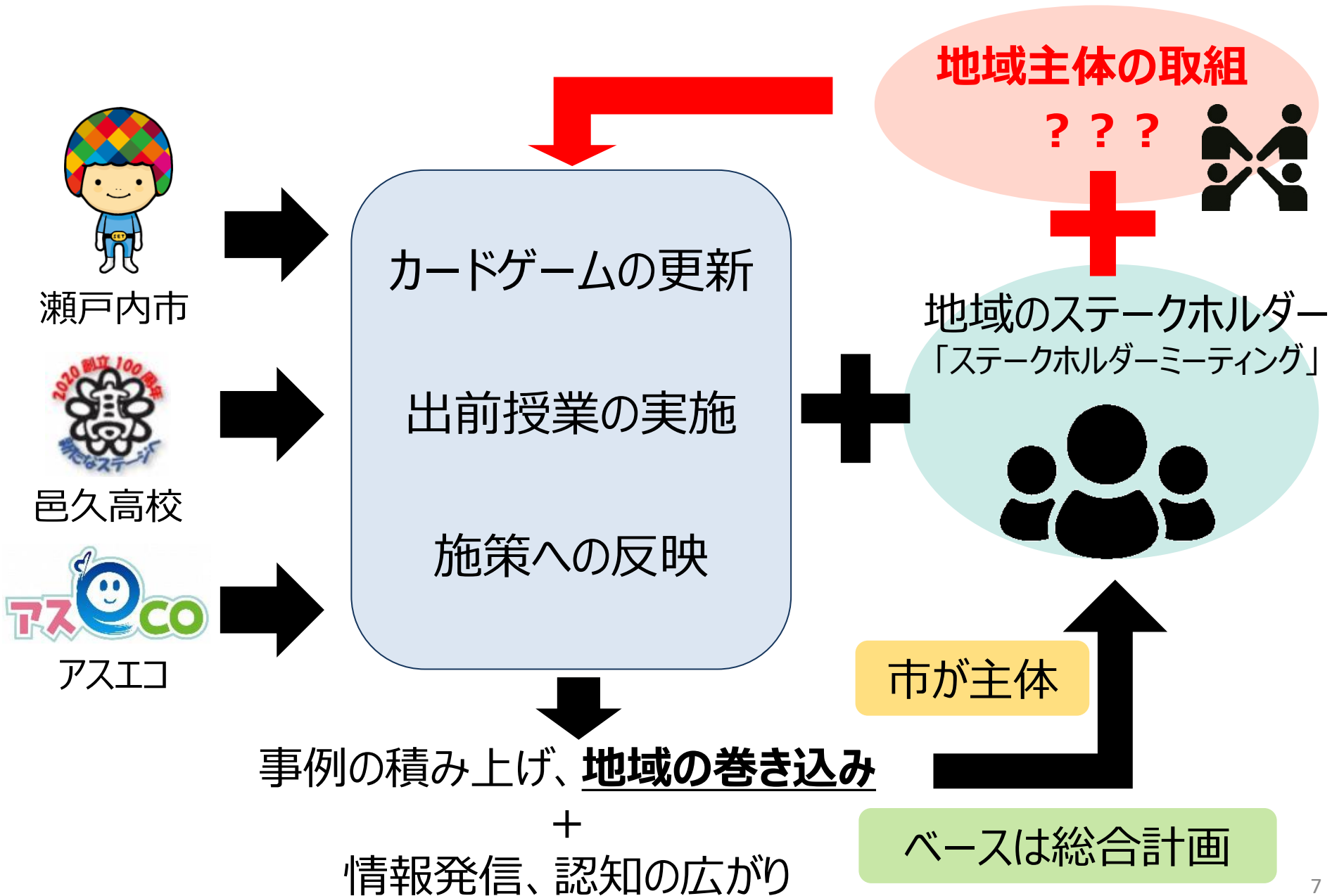
子ども達の解決アイデア



世界に誇れる瀬戸内市の文化財

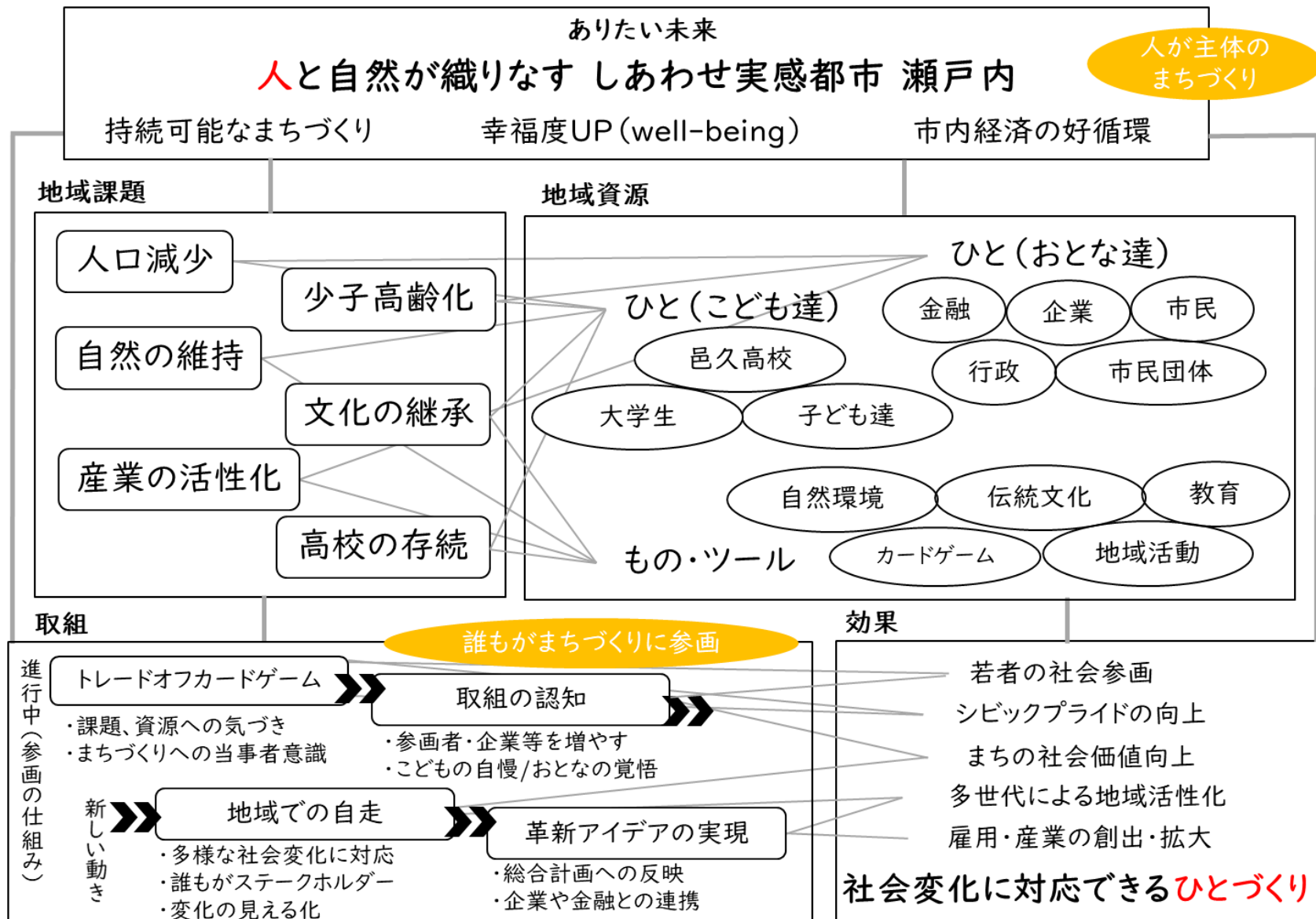
自然豊かな瀬戸内市

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿



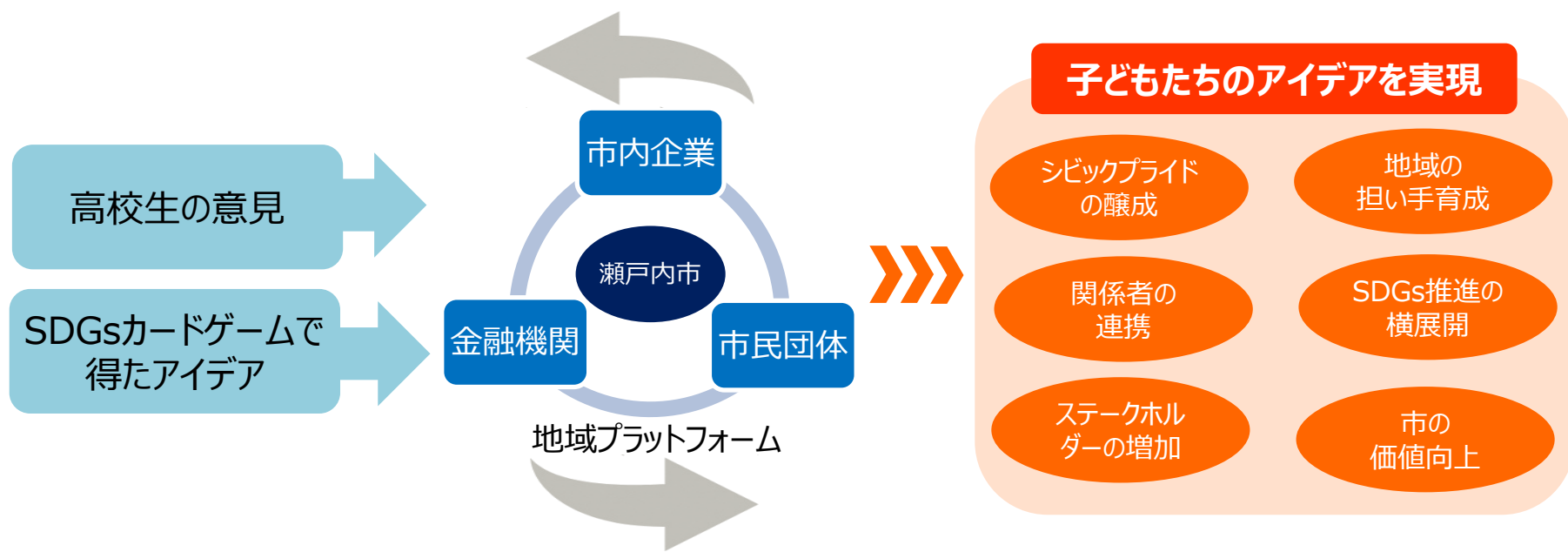
地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

瀬戸内市版マングラ ver.1.0 日本一のまちをつくる“ひとづくり”プラットフォーム



現状の地域プラットフォームと取組を通じての変化

市内唯一の邑久高校を核として、ひとつづくりへの協力体制（地域プラットフォーム）ができ、子ども達の地域への理解・興味が深まるとともに、社会参画意識が醸成されつつある。



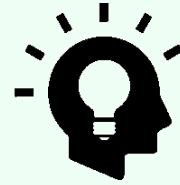
今後は、この取組を地域主体の活動へ移行させるべく、地域の担い手を育成するとともに、子ども達のアイデアを官民連携して実現させていきたい。

取組を通しての成果と新たに見えてきた課題



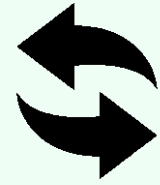
小学校

子どもたちが地域を身近に捉えるきっかけになった
高校ともつながりができた



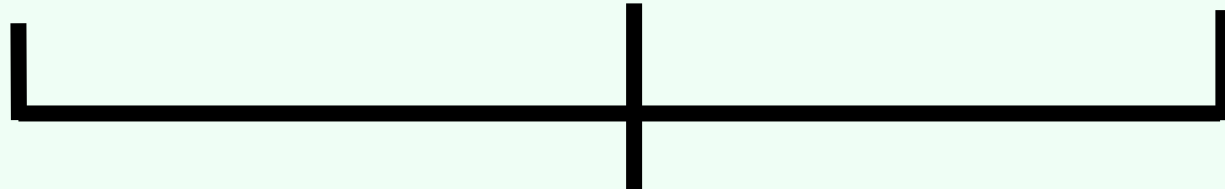
高校

地域課題を自分事として捉え、主体性や探究心、協調性を身に付けることができた



市役所

まちづくりへの参画意識、シビックプライドを醸成など、地方創生とSDGsの推進につながった



子どもたちを核として、市内関係者のつながりができた

成果

課題

- 事業を継続するための方策
- 市内の関係者のうち、市内への愛着が薄い人へのアプローチ
- 中長期的なひとづくりの効果をどう測定するのか etc.

活動における今後の展望

① マンダラのブラッシュアップ

- 瀬戸内市版マンダラを関係者との一緒にブラッシュアップ
- 多様な視点を追加できるように新たなステークホルダーを追加

② 地域の担い手育成

- カードゲームの取組が地域主体となる仕組みづくり
- カードゲームファシリテーターの育成
- 若者の社会参画意識の醸成

③ カードゲームの継続

- 小中高校と連携した事業継続によるシビックプライドの醸成
- 子ども達のアイデア実現に向けた庁内外関係者との連携
- アイデア実現に向けた事業のタネの検討